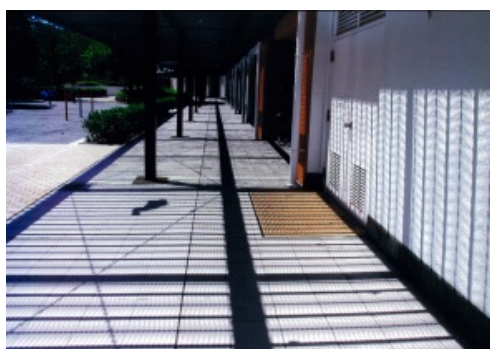


団地景観・復興 フォト&スケッチ展 入賞作品結果発表

～作品展開催のお知らせ～

UR都市機構（独立行政法人都市再生機構）では、「UR賃貸住宅 団地景観フォト&スケッチ展 2016」及び「東日本大震災 復興フォト&スケッチ展 2016」を開催し、全国から多数のご応募を頂きました。この度、入賞作品を選出しましたので発表いたします。また、あわせて作品展を開催しますのでお知らせいたします。（詳細は別紙）



団地景観 フォト大賞



団地景観 スケッチ大賞



復興の歩み大賞（フォト）



復興の歩み大賞（スケッチ）

お問い合わせは下記へお願いします。

本社 技術・コスト管理部 都市再生設計チーム（団地景観担当）
（電話）045-650-0679

本社 震災復興支援室 企画チーム（復興担当）
（電話）045-650-0871

本社 広報室 報道担当
（電話）03-5323-2756

1 入賞作品数

(団地) 大賞 2 作品、優秀賞 6 作品、入賞 18 作品

(復興) 復興の歩み大賞 2 作品、復興の歩み賞 5 作品、入賞 15 作品

2 作品展の開催予定

①「UR賃貸住宅 団地景観フォト&スケッチ展」

及び「東日本大震災 復興フォト&スケッチ展」

日程：平成 29 年 2 月 24 日（金）～2 月 26 日（日）

場所：横浜ランドマークタワー ランドマークプラザ 1 階
フェスティバルスクエア

内容：団地景観・復興共に、全年度の作品の一部を展示いたします。

(団地景観：2008～2012・2014～2016 年の 8 ヶ年分、復興：2014～2016 年の 3 ヶ年分)

②「東日本大震災 復興フォト&スケッチ展 2016」

・福島県会場

日程：平成 29 年 3 月 4 日（土）～3 月 8 日（水）

場所：コラッセふくしま 1 階アトリウム（福島県福島市）

・岩手県会場

日程：平成 29 年 3 月 9 日（木）～3 月 11 日（土）

場所：アイーナいわて県民情報交流センター 4 階県民プラザ（岩手県盛岡市）


・宮城県会場

日程：平成 29 年 3 月 10 日（金）～3 月 12 日（日）



場所：AER 2 階アトリウム（宮城県仙台市）

また、上記 3 県の沿岸部の市町においても開催を予定しております。

「UR賃貸住宅 団地景観フォト&スケッチ展 2016」概要

名称	UR賃貸住宅 団地景観フォト&スケッチ展 2016	
主催	独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）	
後援	国土交通省	
目的	団地ならではの魅力を居住される方や地域にお住まいの方と共有するため	
テーマ	「ふれあいの団地 ～笑顔、暮らし、彩りの風景～」 団地でのいきいきとした活動や、そこに暮らす人の笑顔、親しんだ風景やお気に入りの建物、季節を感じさせてくれる樹木や草花などの写真又はスケッチ	
応募作品数	713 作品（プロの応募は不可）	
審査員	大西 みつぐ（写真家）／千葉 学（建築家）／なかだ えり（イラストレーター） 池邊 このみ（ランドスケーププランナー）（敬称略）	
選定方法	審査員及びUR都市機構職員等による審査により決定	
賞	フォト大賞  「プロムナード」 金沢シーサイドタウン 並木一丁目第一（神奈川県）	【審査員のコメント】 普段気に留めることもない団地内のアーケードの風景が、光によって突如としてギャラリーのような美しい空間に姿を変える、その一瞬を捕えた素晴らしい作品です。壁と床に視線を向けたアングルは光と影の造形を一層際立たせ、見事です。こうした日常の気づきからは、作者の団地に対する愛着と興奮も感じられ、多くの共感を誘いました。（千葉審査員）
	スケッチ大賞  「小さなスケッチ旅行」 あやめ台（千葉県）	【審査員のコメント】 配置図の広めの視点に草花の小さな視点を散りばめたアイデア溢れる作品です。またその草花を通した人々の交流もほほえましく、絵本のような物語が感じられます。作者は引越してきたばかりで、団地を探検するような気持ちでモチーフを見つけたのでは。遊びに来たお友だちにも見せたいイラストマップですね。（なかだ審査員）
	その他、優秀賞（6点）、入賞（18点）を選定	
スケジュール	平成 28 年 3 月 10 日～平成 28 年 8 月 31 日	作品募集期間
	平成 28 年 12 月 1 日	受賞作品発表
	平成 29 年 2 月 24 日～	作品展
ホームページ	http://www.ur-net.go.jp/urbandesign/submit/contest2016/result/index.html	

「東日本大震災 復興フォト&スケッチ展 2016」概要

名称	東日本大震災 復興フォト&スケッチ展 2016	
主催	独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）	
後援	国土交通省、復興庁	
目的	復興への歩みを広く発信し、東日本大震災からの一日も早い復興を支援するため	
テーマ	「復興の歩み ～つなぐ みんなの想い～」 新たな住まいでの生活や、なりわい再建の様子、まちづくりの現場、まちに戻りつつある活気、震災後も変わらない四季折々の風景など、皆さんが復興を感じる場面についての写真又はスケッチ	
応募作品数	349 作品（プロの応募は不可）	
審査員	大西 みつぐ（写真家）／千葉 学（建築家）／なかだ えり（イラストレーター） 池邊 このみ（ランドスケーププランナー） （敬称略）	
選定方法	審査員及びUR都市機構職員等による審査により決定	
賞	復興の歩み大賞（フォト）  「記憶と記録」 宮城県宮城郡松島町	【審査員のコメント】 記憶とは私たちの心にさまざまなイメージとして残されていくものです。それをなんらかの「かたち」として留めていくものが「写真」です。そしてそれらは「記録」として積み重なり、私たちの歴史を形成します。美しすぎる風景にズシリとした重みを感じられるのは作者だけではないでしょう。抑制の効いたトーンの中に見える光は、祈りや希望を表現し、私たちに深い思索を誘います。（大西審査員）
	復興の歩み大賞（スケッチ）  「復興に流れる白滝 ～大槌風景～」 岩手県上閉伊郡大槌町	【審査員のコメント】 復興の進む被災地の造成地の周囲の自然と対照的な重機を含む無機質な風景をシュールに捉えつつも、落ちる土を白滝の如く捉え、朝日の中で働く人々、被災地への思いが伝わる圧巻の作品です。 （池邊審査員）
	その他、復興の歩み賞（5点）、入賞（15点）を選定	
スケジュール	平成 28 年 3 月 10 日～平成 28 年 8 月 31 日	作品募集期間
	平成 28 年 12 月 1 日	受賞作品発表
	平成 29 年 2 月 24 日～	作品展
ホームページ	http://www.ur-net.go.jp/fukkou-photosketch/contest2016/result/index.html	

※応募資格、審査員、選定方法、スケジュールは「UR 賃貸住宅 団地景観フォト&スケッチ展 2016」と同様